

■工事における総合評価落札方式の見直し（試行）に関する質問及び回答内容について

No	質問内容	回答内容	HP公表日
1	価格評価点の算定にかかる優先順位 について 記載の中で、「第一優先区間に入札者がいる場合」は「第一優先区間の者のみ評価します」との記載があります。 説明文にグラフが分かりやすく表記されておりますがその中で、「第一優先」の範囲が緑色矢印で表示されております。 この区間すべてが優先評価されると理解しましたが、一方で「第一優先」区間内の「審査対象基準価格以上μ以下」までの区間に、上側白色のかっこで範囲区間を明示されており、そこには「技術評価点により落札決定する区間」との表示があります。 「第一優先」区間の中でも、「μ以上契約制限価格以下の区間」にいた場合は技術評価点を加味した際に落札者としての権利がないということでしょうか	「第一優先」区間に入札者がいる場合、 「第一優先」区間内の入札者については、全て、価格評価点を算定しますので、落札者としての権利は有しております。	R8.9.9
2	仮に、第1優先区間のμの左区間と右区間に1社ずついた場合です。 価格評価点の放物線が右下がりになっていますが、技術評価点次第では右区間が逆転するケースがあるのでしょうか、それとも、あくまで左区間の業者で落札決定するということでしょうか。	第1 優先区間内であれば、技術評価点と価格評価点の合計である評価値で落札者を決定いたします。	R8.9.9
3	入札者の有効な入札価格の平均値μの92%が第一優先区間の途中にある場合、入札者の有効な入札価格の平均値μの92%に近い場合が価格点が高いという理解でよいでしょうか？	ご指摘のとおり、入札価格が、μの92%に近づくほど価格評価点は高くなります。	R8.9.9
4	第1 優先区間に入札者がおらず、入札者の有効な入札価格の平均値μの92%が契約制限価格を超える場合、契約制限価格により近いと価格点が高くなるという解釈でよいでしょうか？	価格評価点は、いずれの状況にあっても、μの92%に近づくほど高くなります。	R8.9.9
5	第1 優先区間に入札者がおらず、入札者の有効な入札価格の平均値μが審査対象基準価格を下回る場合、審査対象基準価格により近いと価格点が高くなるという解釈でよいでしょうか？	価格評価点は、いずれの状況にあっても、μの92%に近づくほど高くなります。	R8.9.9
6	9/7(月)と9/10(木)の2回WEB説明会が予定されていますが、質問回答以外の内容は同様の説明内容となりますでしょうか。	説明内容は同じです。	R8.9.9
7	μ（対象入札者の平均価格）が契約制限価格を超えてしまった場合、審査対象基準価格（契約制限価格$\times$92%）に入れた会社は価格評価点が減点されるということでしょうか。	価格評価点の算定は、図に示す赤ラインのとおりの評価となります。	R8.9.9
8	μの算定について以下の注意書きがあります。 注）μの算定にあたり、全入札者の平均入札価格の$\pm 30\%$の価格から超過する価格は算定の対象としません。 ただし、全者が$\pm 30\%$から超過する場合は算定の対象とします。 μの算定を行い、全入札者の平均入札価格の$\pm 30\%$の価格から超過する価格を除いた平均価格をμとした時に、$\pm 30\%$の平均入札価格から更に超過する価格があった場合は再算定を行なうという理解でよろしいでしょうか。そういった場合、何回まで再算定を行なうか決まりはありますでしょうか。	全入札者の平均入札価格を算定し、$\pm 30\%$の範囲内の入札価格を対象として平均したものが、μとなります。 よって、μを算定後に改めて、再算定という行為は行いません。	R8.9.9
9	対象入札者の平均入札価格μの$+30\%$に根拠はありますでしょうか。	各種数値の設定根拠等についてはお答えできません。	R8.9.9
10	対象入札者の平均入札価格μが契約制限価格を超えると$\mu \times 92\%$が審査対象基準価格より大きくなりますが、その場合の審査対象基準価格は変更されるのでしょうか。	審査対象基準価格は変わりません。	R8.9.9
11	「μの算定では、全入札者の平均入札価格の$\pm 30\%$の価格から超過する価格は算定の対象としない。ただし全入札者が30%から超過する場合は算定の対象とする」とありますが、 ・μが130%近く、あるいは超えた場合の$+30\%$は160%くらいになりますが、それもμ算定の対象とするのでしょうか。 ・逆に（ほとんどないが）μが70%近く、あるいはそれ以下であった場合の-30%は40%くらいになりますが、それもμ算定の対象とするのでしょうか。	ただし書きに記載のとおり、全入札者が平均入札価格の$\pm 30\%$を超過する場合は、そのすべての入札価格を算定の対象とし、μを算定いたします。	R8.9.9